



# 学校だより

7月号

横浜市立大道小学校  
令和3年6月30日



← 学校 WEB ページはこちらから

校長 加藤 和之

## 「地域の愛に包まれて」

早いもので、今年も半分が過ぎました。はっきりとしない天気が続いていますが、子どもたちは元気に毎日を過ごしています。

きゅうしょくは おいしいおいしい やまもりだ  
うれしいな みんなあいする アイパッド  
朝の空 元気にひびく おはようと

大道小 べんきょういっぱい 楽しいな  
畑には 野菜いっぱい すてきだね  
のびていく いきいき学ぶ 子どもたち

これは、「Love&スマイル運営委員会」の企画で行った、「大道川柳コンクール」に出された作品です。校内には、全校の子どもたちがつくった、たくさんの「大道川柳」が掲示されています。どれも「大道愛」に溢れた作品ばかりです。「子どもたちが、こんなにも大道小の良さを感じながら生活しているんだ。」と思い、とても嬉しくなりました。

さて、大道小は地域の皆様の「愛」に支えられている学校でもあります。

毎日、下校時には「見守り隊」の方々が、正門と東門周辺に立ち、子どもたちが安全に下校できるよう、見守ってくださっています。文章で書いてしまうと、伝わりづらいのですが、これは大変なことです。暑い日寒い日、雨の日や風の日もあります。一日の授業が終わったという解放感から、子どもたちは予想外の行動をすることも考えられます。それでも、車の様子に気を配りながら、いつでも子どもたちを見守り続けてくださっています。

「見守り隊」の皆様に、先日の朝会においていただき、子どもたちから改めて感謝の気持ちを伝えました。すると、逆に「私たちも、皆さんからの挨拶に、元気をもらっています。」という言葉をかけていただきました。ありがたいことです。

先日、2年生が生活科の学習で、「まちたんけん」に出かけました。学校を出た時にはいい天気だったのですが、西大道のあたりを歩いている時、急に暗くなり、「ゲリラ豪雨」のような雨が降ってきました。全く予想をしていなかったため、子どもたちは雨具を持っていません。どうしようかと途方に暮れていたところ、たまたま通りかかった地域の方々が、これは大変と、近所から傘をかき集めてくださいました。そして、雨宿りができるように、町内会館を開放してくださったのです。地域の方々の優しさにふれた50人余りの子どもたちにとって、もしかしたら、学習以上に印象に残る出来事だったのではないのでしょうか。

こうして、子どもたちは様々な場面で地域の皆様とつながり、学ばせていただいています。自分たちが、「見守られている」「大切にされている」と感じることは、子どもの成長にとって大切なことだと思います。大道小の地域の良さを改めて噛みしめ、私たち職員も、子どもたちを愛し、温かく、時には厳しく指導していきたいものだと感じる、今日この頃です。